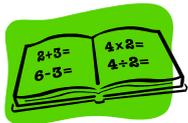


はもりあ

「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。
2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2013年7月1日発行

もうすぐ参議院議員選挙ですね。皆さんもご存知のとおり、今回の選挙は憲法改正が争点に上がっています。日頃の生活の中で憲法について考える機会はそうそう無いと思います。この機会に日本国憲法について改めて考えてみてはいかがでしょうか。今回の記事の中にも日本国憲法に関連する記事がありますのでぜひご一読ください。



平成25年版「男女共同参画白書」が公表されました！

詳しくは、[内閣府ホームページ](#)をご覧ください。はもりあ四日市情報コーナーでも冊子を閲覧できます。

毎年、6月の「男女共同参画週間」に合わせて政府が発表する「男女共同参画白書」が公表されました。

今年度の特集は、「成長戦略の中核である女性の活躍に向けて」です。経済再生における女性の役割、女性の労働形態（M字カーブ）の背景や、結婚や出産といった女性のライフステージと就業状況の関係を明らかにしながら、少子高齢社会の日本で、変化し続ける社会・経済状況に対応し得る経済成長の担い手として注目される女性の活躍を進めるためには、何が必要か、その課題を明らかにし、今後の取り組みの方向性を示しています。

【経済再生における女性の役割】

バブル経済崩壊後の低成長とデフレの長期化、産業構造の変化、グローバル化に伴うダイバーシティ（多様性）経営への要請や雇用慣行の変化等、企業・雇用を取り巻く環境の変化、さらに、単身世帯や共働き世帯の増加や男性世帯主の収入の減少等、世帯構成及び家計の面でも今の日本は大きく変化してきています。

このような大きな環境変化の中で、経済成長の担い手として女性の可能性が注目されており、それは、生産年齢人口の減少の緩和という側面だけでなく、より多くの女性が様々な経済活動に参画することにより、多様な経験や価値観が反映され、新たな市場が開拓されることが期待されているのです。

【女性の活躍促進をめぐる課題と今後の取り組み】

女性の経済活動への参画促進の必要性が認識されながら、今の日本の現状は、全就業者に占める女性の割合は42.3%と海外の主要国と比べて大きな差は見られないものの、その半数以上が非正規雇用であり、管理的職業における女性の割合は世界的に非常に低い水準にとどまっています。

まだまだ固定的役割分担意識の強い日本では、育児や介護等によって女性が働き続けることが困難な状況があること、また、そうした状況が、女性が管理ポストに就くことを困難にしているといえます。

女性が直面する課題を克服するには、女性のライフステージごとの課題に対応した施策の展開と企業における積極的な取組を促していくことが重要であり、それは、長時間労働を前提にした働き方や評価のあり方の変革、多様な働き方を可能にするような労働市場の整備、また、例えば企業における女性の登用状況の開示を促進するなどの取り組みが必要です。

【男女共同参画社会～ひとりひとりの豊かな人生～に向けて】

こうした様々な取り組みと併せて、職場等における慣行や固定的役割分担意識をはじめとする人々の意識や社会制度といった男女の働き方に影響を与えている要因にも広く目を向けていくことを忘れてはいけません。

今後、社会・経済の成長の原動力として女性の活躍が進んでいけば、これまで女性と男性がそれぞれ担ってきた立場や役割も変わっていくはずですが、そうした変化は、女性も男性も、その意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる男女共同参画社会への過程であり、ひとりひとりの豊かな人生に通じる道のりでもあるのです。



「ベアテの贈りもの」上映会のお知らせ

日本国憲法の男女平等起草に携わり、日本各地で憲法精神、女性の権利について訴え続け、日本国憲法 24 条の生みの親と言われたベアテ・シロタ・ゴードンさんが昨年末にニューヨークでお亡くなりになりました。日本各地でベアテさん追悼の催しが行われています。四日市市でも戦後日本の男女共同参画への歩み等を記録した「ベアテの贈りもの」を観て、ベアテさんの思いをしっかりと受け取りたいと思います。

・「ベアテの贈りもの」上映会とお話について

日時：2013年8月10日(土) 13:30~16:30

場所：本町プラザ1階ホール

対象者：よっかいち人権大学あすてつぷをはじめ、これまでに人権学習のための講座を受講した経験があり、さらに学習を深めたい方。四日市市に在住、在勤・在学の方を優先します。

定員：50名(先着順)

申込方法：四日市市人権センターに電話かFAX、またはEメールにてお申し込みください。

電話 059-354-8609 FAX 059-354-8611 E-mail jinkencenter@city.yokkaichi.mie.jp

申込締切：8月2日(金)

託児：有(事前の申込が必要です。)託児でお預かりできる年齢は1歳以上就学前のお子さんです。

駐車場：市営中央駐車場と本町プラザ立体駐車場(車高制155cm)をご利用の場合駐車券をお出します。

お知らせ：当日は映画鑑賞後、四日市市男女共同参画センターの見学、交流を予定しています。



大会テーマ

「いきいきわくわく小さなまちから新たなるステージ！」

日本女性会議とは

日本女性会議は、1975年(昭和50年)の「国際婦人年」とそれに続く「国連婦人の10年」を記念し、1984年(昭和59年)に名古屋市で第1回大会が開催されました。以来、男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流の促進や情報のネットワーク化を図ることを目的とした全国規模の会議です。

開催日：2013年10月11日(金)~10月13日(日)(エクスカージョンを含む)

開催地：徳島県阿南市 阿南市スポーツ総合センター(分科会は阿南市内公共施設)

申込期間：8月20日(火)までですが、定員になり次第締切ですのお早めに!

申込方法、参加費、問い合わせ先等詳細につきましては、下記ホームページを参照してください。

<http://www.jwc2013anan.com/>



人権センターで人権学習支援事業補助金を受けることができます!

- ◆ 日本女性会議に全額個人負担で参加する場合、参加経費の一部補助が受けられます。
- ◆ 対象者は、四日市市内に在住、又は在勤、在学の方です。
- ◆ 詳細については、下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先 四日市市人権センター 総合会館7階 (TEL) 354-8609

「夏休み宿題応援企画」参加者募集

日時 8月20日(火) 10:00~12:00

内容 木工教室と男女共同参画の寸劇 場所 本町プラザ2F 会議室

対象 市内の小学生とその保護者 参加費 小学生一人につき100円

定員 20組(応募多数の場合は抽選) 託児 無料(6ヶ月以上)

応募締切 7月19日(金) 締切り・必着 詳しくは「はもりあ」へお問合せ下さい。

申込方法 往復ハガキに、講座名・参加者名・連絡先の住所・電話番号、託児が必要な場合は預ける子の名前と年齢を記入し、はもりあ四日市まで



こども
さんかくレッツ
2013

相談室 から

男性の相談員による

男性のための電話相談

四日市市では、男性のための電話相談を7月から実施します。

男だからといって、がんばりすぎていませんか。
自分自身の生き方、家庭の問題、仕事や健康の悩みなど、
電話で相談してみませんか。お気軽にお電話ください。

弱音を吐けば、男がすたる！？
そんなことは、ありません。



専用電話 059 - 354 - 1070

男性からの悩みの相談を、男性の相談員がお聴きします。(ひとり30分程度)
相談内容は、自分の性格や生き方、夫婦関係、子どものこと、性・セクシャリティなど何でもかまいません。
市内にお住まい、または通勤、通学している男性なら、どなたでも利用できます。
匿名でOKです。プライバシーは厳守します。
相談は無料です。

《相談日》

毎月第2土曜日

7月13日(土)

8月10日(土)

9月14日(土)

10月12日(土)

11月9日(土)

12月14日(土)

1月11日(土)

2月8日(土)

3月8日(土)

《時間》

12:00~15:00

今月のキーワード

男女雇用機会均等法

1985年に公布された「男女雇用機会均等法」は、募集・採用、配置、昇進の際、女性と男性を均等に扱う努力義務が課され、性別による差別が禁止されました。この法律によって職場における男女差別はかなり改善されました。その後、1997年の全面改正によって、努力義務であった募集・採用、配置・昇進等の差別を禁止し、ポジティブ・アクション(積極的改善措置)、セクシャル・ハラスメント関連の規定の創設等が盛り込まれました。2006年に再度改正され、一見差別に見えない基準が、実際には一方の性に不利益となっている「間接差別」の禁止、妊娠や出産などを理由とする退職強要などの不利益な扱いの禁止、さらに女性だけでなく、男性へのセクハラ防止対策を企業へ義務づけるなどが加わりました。女性だけに焦点を当てた内容ではなく、広い意味で性差別を捉えているのが特徴です。

少子高齢社会を迎えて労働力の減少が避けられない現在、男女が共に育児をしながら仕事を継続できるような環境を整えることは、これまで以上に企業の重要な課題となっています。今後の企業の具体的な取り組みが期待されます。



男女
共同

さんかくeye

このコーナーでは、はもりあ四日市のスタッフが、本を読んだり、映画を観たり、お話を聞いたり、また、日々の生活の場面で感じたことを綴っていきます。もちろん、『男女共同参画』の視点★を通してね。

先日、株式会社ワーク・ライフ・バランス代表取締役社長であり、二児の母でもある小室淑恵さんの「これからの社会を支えるワーク・ライフバランス」の講演会に行ってきました。

ワーク・ライフ・バランス(WLB)とは、『仕事と生活のバランスをとること。つまりどちらかを犠牲にするのではなく、どちらも自分の希望に合わせて充実させる』ことです。今の日本の働き方は、子どもと遊べない、パートナーとの時間もない、スポーツもできない、自己研鑽の時間もない、残業つづきのワーク・ワーク・ワークです(笑)。「仕事ばかりでは、すぐに自分の中の引き出しが空になってしまう。地域活動や家事育児など多くの引き出しをうめてこそ、いい仕事ができる」「人は目覚めてから13時間しか集中できない」のだそうです。…だったら働き方を見直してみませんか?いつやるか?今でしょ!(^ ^) WLBなんて今の職場では無理とっていましたが、イヤやらなきゃって!思いました。(^^) 【担当:京】

登録グループイベント情報

7月28日(日) 家族の生活ひろば

～ アイロンがけやおにぎり作りを体験しながら、
大人も子どもも生活力アップを目指します～

時 10:00～15:00

所 四日市友の家(四日市市智積町大字大谷2910-4)

費 大人200円 子ども(年中以上)100円

連絡先 四日市友の会 TEL&FAX(059-326-2081)



8月10日(土) 親子お片づけ教室 夏休みの自由研究になりますよ!

24日(土) 時 9:30～11:30 所 はもりあ四日市 会議室(本町プラザ3階)

対 2年生以上の小学生と保護者 定 10組

費 1組1000円(子ども2人目から1人につき500円追加)

問・申 暮らしの夢プラン 講師 中村

TEL&FAX(059-321 2970) 携帯 090-2571-7698



登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループを紹介します。

今回は パパ・サンズ・ヨンロクハチ

PAPA-SUNS 468

さんです。代表 佐野 幹男
連絡先 8e582t@bma.biglobe.ne.jp

四日市市の「父親の子育てマイスター」養成講座の平成24年度修了生が立ち上げたグループです。
1期生「Happyよかパパ」、2期生「パパ魂」、そして私たちは3期生の「パパ・サンズ・ヨンロクハチ」です。

子育てに興味や関心のあるパパ達がメンバーなので、会話となるとこどものことでいつも盛り上がっています。グループの活動は、パパ達の交流はもちろんですが、家族ぐるみで楽しめるイベントを開催して、こども達や家族みんなで楽しい時間を過ごしてもらえることを目的としています。

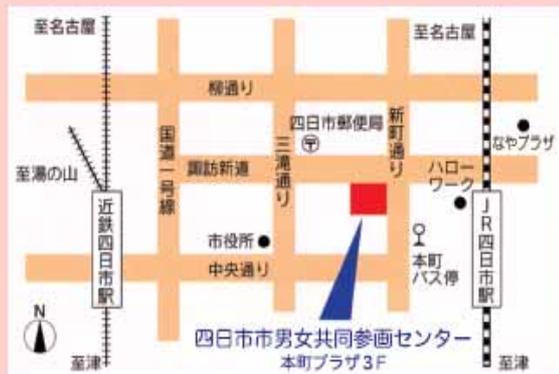
今後は、四日市市やいろいろな団体の企画しているイベントなどの情報も提供して、みんなで参加できればと思っています。パパ達の子育てに少しでも役に立てればと考えていますので、興味をもたれた方ぜひ参加してみてください。

「子育てマイスター」とは・・・四日市市が子育てに関心のある男性を対象に子育てについての講座を実施し、講座を終了された方を「父親の子育てマイスター」として認定しています。

あとがき

はもりあの清水です。控えめな梅雨も本領発揮といったところでしょうか。

前号でもお伝えした我が家のゴーヤもあっという間に2メートルを超えるところまで成長しました。収穫するのが楽しみです!



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F

TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml